



世界に希望を生み出そう

<本年度クラブ会長方針>

繋ごう『クラブの心』、
築こう『クラブのさらなる繁栄』を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 丹下富博 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8口イナルビル6F
幹事 大上晃延 電話(052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1910回例会

地域社会の経済発展月間

米山月間

令和5年10月19日(火)

米山月間卓話

於 名古屋観光ホテル

出席計算数 会員 63名

58名中49名出席

出席率 93.84%

前々回出席率 33.48%

例年プログラム

★米山記念奨学会表彰

・五千万円達成クラブ

★米山奨学生・学友証明書授与

★お誕生日お祝い

★杉本40周年実行委員

・俳句コンテスト募集案内

★尾上40周年実行委員長

・記念式典(案内)

★米山月間卓話

「ロータリーソング」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

米山奨学生 エンフバヤル・ホラン

「ピクチャー」

地区米山記念奨学会委員長

大橋 均さん

(知立RC)

「ニコボックス」

大橋委員長よりごそおいで下さいました。ホランさん卓話楽しみます！ 丹下 富博・大上 晃延

伊那では堀江さんはじめ皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。優勝させて頂きました。

木村 吉伸

モンゴルの話楽しみです。

岡部 快園・加藤巳千彦

横井 衛・岡田 尚彦

西脇 良輔・高木 政義

ホラン、ファイト！です。

近藤 明美

ホランさん卓話頑張ってください。

内藤 啓喜・西垣亜天子

深谷 昭広・新井 雅博

先週、秋の上高地へ行ってきました。熊と猿がいきました。

吉田 隆彦

大須チラシ配りお疲れ様でした。

木村 光徳

会長挨拶 会長 丹下 富博

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家 米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省(現在の文部科学省)の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

奉仕の人「米山梅吉」

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏(1868-1946)

は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。19歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー(カリフォルニア州)、ウエスレヤン大学(オハイオ州)、シラキュース大学(ニューヨーク州)で8年間の苦学の留学生生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を「社会への貢献」とするなど、今日でいうフィランソロピー(Philanthropy)の基盤を作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、



子どもへの教育のために、はる夫と共に私財を投じて小学校を創立しました。

「何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ」これは米山梅吉氏の願いで、ご自身の生涯そのものでした。

「他人への思いやりと助け合い」の精神を身もって行いつつ、そのことについて多くを語らなかつた陰徳の人でした。

世界の平和を願って

「なぜ留学生支援なのか」

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか。」事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。

それから60年余の歳月が流れましたが、「民間外交として世界に平和の種子を蒔く」という米山奨学事業の使命は「貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えるとき、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。」

留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

米山月間卓話
「日本とモンゴルの良いところ」
米山奨学生
エンフバヤル・ホラン



名古屋大須ロータリーの皆さまこんにちは、私はロータリー米山奨学生エンフバヤル・ホランです。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。本日の発表の内容は日本とモンゴルの良いところについてお話をします。これはあくまでも私が日本に来てから日本とモンゴルを比較して自分がかかったことや感じたこと、良いなあと思ったことなのでご了承下さい。それでは、最初に日本のいいところについて、次にモンゴルのいいところ、という流れでお話をします。

まず、日本に関して良いと思っ

や運動、早寝早起き、お風呂に入ること、医療制度の充実などである。日本食いわゆる和食は非常に健康的だと思っています。お米中心で魚、納豆、豆腐、味噌などである。

それで、運動に関して、私が日本に来て一番驚いたことです。なぜなら、私は早朝6時から10時の間コンビニでアルバイトをすることになりました。6時に出勤するためには5時半に家を出ないといけなかったですね。それで、5時半に仕事へ行く途中に散歩している・走っている・公園で運動している多くの人と出会いました。これは私が人生で初めて見た背景なので非常に驚きつつ、尊敬し、羨ましく思いました。

それで、日本人は充実した一日を過ごすために夜お風呂に入ったり、一日の疲れを癒して、早く寝て、朝早く起きることを習慣にしていることを日本人の知り合いから聞きました。私も充実した生活を送るために頑張っていることです。

最後には、日本の医療制度である。日本で誰でも保険を払う義務があるのではないのでしょうか。皆、病気や怪我をした時、入院などの時に保障してくれるの非常に安心できるのだと思っています。

次に、日本は古来より受け継がれてきた建物や文化を守り続けていることがすごいなあと思います。国が存在するには文化や

歴史が非常に重要だと考えています。日本の観光地では昔のお寺や建物が多くあり、文化・習慣を表したものが多くありますのでいいなあと思います。

最後に他人に迷惑をかけないという考え方です。

日本人を一番尊敬しているところは他人に迷惑をかけないという考え方である。これが子供からの教育制度と関係があると思っています。図書館や教室、電車、バス道、お店なども日本人は他人を尊敬している姿を見られるので非常に素晴らしい文化であるだと思います。

それではモンゴルのいいところについてお話をしたいと思います。人間はある環境の中にいる時、その環境や物の良さに気が付かない、気にしない、感じないのが普通だなど納得し、なぜだろうと不思議に思いました。なぜなら、私は日本に来てから、モンゴルのいいところ気づきました。日本に来る前はずっとタメなところばかりを口に出して、モンゴルの綺麗なところやいいところに気が付かなくなりました。それで、日本に来てからモンゴルを外から見ると、たくさん良いところ気づき、よりよ

き、よりよ



モンゴルの自然に感動していました



チンギス汗の行われる場所に参りました

ときに撮った写真やビデオで作った動画を見せて、私の発表が終わりになります。本日はありがとうございました。

米山記念奨学会表彰
五千万円達成クラブ感謝状

昨年度、クラブ寄付金累計額が5,000万円に達し、米山記念奨学会からクラブへ感謝状が授与されました。地区米山記念奨学会委員長 大橋均委員長より丹下富博会長へ手渡されました。



米山奨学生・学友証明書授与

11月2日(木)例会の案内

SPEAK OUT DAY

公共イメーション向上委員会

- 近藤 明美・小澤 幸男
- 松本 哲朗・桑山 光俊

*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。